

第4次岩倉市総合計画基本計画総括評価

まちづくり戦略1	健康寿命を延ばす
まちづくり戦略2	子育て世代の移住・定住（世代循環）を促す
まちづくり戦略3	ラーバンエリアの良さを生かす
まちづくり戦略4	より確かな市民参画・協働を推進する

基本目標1 安心していきいきと暮らせるまち（健康・福祉）

<10年間で取り組んできたこと>

- 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実
助産師の配置、新生児訪問の実施

● 健康いわくら21（第2次）の策定（H26.3）及び推進

- 予防接種受診体制の充実（県内全域で受診可）
- 特別養護老人ホームの整備支援
- 尾張北部権利擁護支援センターの設置（2市2町）
- 保育サービス等の充実

私立保育園整備・認定こども園移行、小規模保育所整備支援、
保育園送迎ステーション、保育室空調完備、
保育利用定員の拡大、一時保育の拡充、
病児・病後児保育市外施設利用補助、病後児保育事業の実施、
放課後児童クラブ施設整備及び定員拡大

- 生活介護事業所整備支援
- 地域福祉計画の策定（H25.3、第2期H30.3）及び推進
- 医療費助成の拡大
子ども医療（小学6年生まで⇒中学3年生まで）
精神障害者医療（1/2助成⇒全額助成など）
- 生活困窮者自立支援法に基づく自立支援の充実

<主な課題>

子育て支援策などの独自の取組も含め、様々な施策に取り組んできたが、超高齢化が進む中、課題も多く、これまで以上に重要性が増す分野。

- キーワードは、健康寿命の延伸、地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の形成。
- 子育て世代のニーズにマッチした支援施策により、子育て世代層（生産年齢人口層）に選ばれるまちづくりを進める必要がある。

基本目標2 自然と調和した安全でうるおいのあるまち

（環境・防災防犯）

<10年間で取り組んできたこと>

● 第3次五条川自然再生整備等基本計画の策定（H26.3）及び推進

- 環境基本条例の制定（H24.3）
- 環境基本計画の策定（H25.3）及び推進

● 公園整備推進

ござんじ公園整備、石仏公園及び（仮称）多目的交流広場

- e-ライフプラザ開設（H27）による資源回収の充実
- ごみ処理施設の更新（小牧岩倉衛生組合）
- 同報系防災行政無線の整備
- 移動系防災行政無線のデジタル化
- 備蓄食料・資機材の整備充実
- 貯留施設整備による浸水対策の推進
北小学校地下貯留施設、五条川小学校調整池
- 地域合同防災訓練の全小学校区での実施
- 消防通信指令事務共同運用の開始
- 通学路のカラー舗装化

<主な課題>

本市のシンボルである五条川を生かしたまちづくりや全国的にも多発する自然災害への備えなどが、引き続きの課題。

- キーワードは、プラスチックごみによる海洋汚染問題、地球温暖化対策、持続可能な開発目標（SDGs）。
- 交通安全対策や防災・防犯対策といった安全・安心に対する市民の関心は依然として高く、市民生活の安全・安心の確保も引き続きの課題。

基本目標3 豊かな心を育み人が輝くまち（生涯学習・教育）

<10年間で取り組んできたこと>

● 生涯学習センターの定着及び充実

- 民俗資料データベースの作成及びWEB公開
- 文化財指導員の配置
- 図書館開館日の拡大（月曜開館）
- 総合体育文化センターの指定管理者制度の導入及び開館日拡大（月曜開館）

● 学校施設の耐震化完了

● 小中学校普通教室等への空調設備設置

● 学校施設長寿命化計画の策定（H31.3）

● 教育大綱の策定並びに教育振興基本計画の策定（H29.3）及び推進

- いじめ防止基本方針の策定及びいじめ問題対策への体制整備
- 部活動指導サポーター派遣
- スクールソーシャルワーカーの配置
- 教育用タブレットの導入
- 新学校給食センター（ゆめミール）の整備、給食の提供開始（H28.9）
- 学校における食物アレルギー対応の手引きの策定
- アレルギー対応給食（乳・卵除去食）の提供（H29.3）

<主な課題>

人生100年時代といわれる中、市民一人ひとりが夢と希望を持って自分らしく充実した人生を健康的に送ることができるようにするために、学校教育、生涯学習、生涯スポーツの推進が課題。

- 学校教育におけるキーワードは、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力（＝生きる力）。
- 学校施設が老朽化する中で、ハード面における教育環境の向上も必要。

まちづくり戦略1	健康寿命を延ばす
まちづくり戦略2	子育て世代の移住・定住（世代循環）を促す
まちづくり戦略3	ラーバンエリアの良さを生かす
まちづくり戦略4	より確かな市民参画・協働を推進する

基本目標4 快適で利便性の高い魅力あるまち（都市基盤）

<10年間で取り組んできたこと>

- デマンド型乗合タクシーの導入 ⇒ ふれ愛タクシーに見直し
- 都市計画道路北島藤島線跨線橋の整備により全線開通
- 幹線道路整備推進
 - 名古屋江南線
 - 萩原多気線
 - 一宮春日井線
 - 桜通線
 - 岩倉西春線
- 橋梁長寿命化修繕計画の策定（H26.1）及び推進
- 空き家バンクの設置
- 住宅耐震改修の促進、空き家解体促進
- 上水道の安定供給
- 水源施設及び水道管の耐震化推進
- 公共下水道整備推進（下水道整備率 H22 56.1%⇒H30 68.4%）
- 公共下水道事業特別会計から公営企業会計への移行（R1）

<主な課題>

都市計画道路を中心とした幹線道路網の整備は着実に進んでいるものの、市街地整備や住宅施策に関しては、今後の課題。特に、名古屋からの交通利便性の高い本市は、大都市のベッドタウンとして、子育て世代にとって住みやすい一方で、子育て世代（30歳代から40歳代前半）の転出超過は、市域が狭く、人口密度が高いために戸建て住宅が取得しにくい本市の構造的な課題といえる。

- 子育て世代が住宅を取得して住み続けられるような施策が必要。
- 岩倉駅東は北街区の再開発により都市らしくなったものの、岩倉駅東地区のにぎわいづくりが課題。

基本目標5 地域資源を生かした活力あふれるまち（産業）

<10年間で取り組んできたこと>

- JA 愛知北との連携による岩倉農地保全管理機構の設置
- 第2期食育推進基本計画策定（H27.3）及び推進
- ふるさと納税による名古屋コーチンの消費拡大
- 企業誘致の推進
 - 企業立地の促進等に関する条例の制定（H27.12）
 - 川井野奇地区における企業誘致の推進
- 中小企業・小規模事業者活性化行動計画の策定（H29.3）及び推進
- 岩倉ビジネスサポートセンター設置及び運営支援
- 中小企業・小規模企業振興基本条例の検討
- 消費生活センターの設置
- 五条川健幸ロードの整備
- NPO 法人いわくら観光振興会の設立
- マスコットキャラクター「い〜わくん」の誕生及び活躍
- 「冬の鍋フェス in いわくら」や「いわくら de マルシェ」など 新たなイベントの実施

<主な課題>

本市のシンボルである五条川桜並木の保全再生（老木の延命や間引き、植栽など）が引き続き、大きな課題。

- 農業は、優良農地の保全、担い手農家の育成が依然として課題。
- 製造業等の企業誘致と同時に、引き続き、中小企業・小規模事業者の支援が必要。
- 交通利便性や特色ある地域資源を生かした観光の推進やふるさといわくら応援寄附金などを通じた交流人口の拡大などの取組みも引き続き必要。

基本目標6 市民とともに歩む ひらかれたまち（協働・行財政運営）

<10年間で取り組んできたこと>

- 協働のルールブックの作成（H24.2）
- 自治基本条例の制定（H24.12）
- 市民参加条例の制定（H27.12）及び条例に基づく市民協議会の開催など
- 中学生海外派遣事業の継続実施（～H23 マレーシア、H24～モンゴル）
- 外国人サポート職員の拡充
- 小・中学生平和記念派遣事業（広島・長崎隔年）の継続実施
- 広報紙のリニューアル
- 市ホームページのリニューアル
- 市公式 SNS の開設（Facebook、LINE）
- 個人情報保護条例等に基づく個人情報の適切な管理運用
- 特定個人情報の取扱いに関する管理規程の制定
- オープンデータ提供
- 公文書目録のホームページでの公開
- 行政経営プランに基づく行政改革の推進
- 総合計画の進捗管理としての施策評価の実施
- 公共施設等統合管理計画の策定（H29.1）
- 公共施設再配置計画及び長寿命化計画の策定（H31.3）
- 滞納整理の徹底による収納率の向上
- 人材育成基本方針の策定（H26.10）
- 人事評価制度の導入

<主な課題>

地域共生社会の実現など人口減少時代・超高齢社会に耐える社会システムを構築し、持続可能な自治体経営・地域経営としていくためには、市民と行政との協働の枠を超えた、多様な連携が課題。

- 開かれた行政経営と、自助・共助を大切にした「自治と自立」のまちづくりがより一層重要。
- 人口急増期に整備した公共施設（学校施設や保育施設など）の老朽化が進み、それに伴う施設の維持・管理・更新コストの増大が大きな問題であり、公共施設の集約・再配置（統廃合）・複合化を含めた公共施設再配置計画等の着実な実行や公的不動産の合理的な所有や利用形態の最適化が課題。